

中国・日本・そして世界  
—アジアの巨龍、中国と如何に取り組むか—

H21. 4. 24

谷野 作太郎

(元駐中国、インド大使)

1. 何故、今、中国か？

—経済大国： GDP 世界第 3 位

貿易量世界第 3 位

外資準備高世界第 1 位

(日本にとって最大の貿易パートナー “あなたは中国製品なしに生きられますか？”)

—政治外交大国： 国連安保理 5 大常任理事国の一

—軍事大国： 米に次ぐ世界第二の軍事大国 ('84 以来、毎年 10%以上の軍事予算の伸び、核保有国) (中国の軍事費をめぐる不透明性)

—温暖化ガス排出大国 中国は二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) の排出量は米国に次いで二番目、二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>) の排出量は世界トップ

“Dreaming with BRICs: the Path to 2050” (2003 10 Goldman Sachs Report)—いずれ

米、中、インドは世界の 3 大経済大国に

“CHINDIA” (米ビジネスウィーク誌 2005 8. 15)

→ G8 ではなく G2 をこそ (フレッド バーグステン)、G8 でなく G10 を、G20

2. 日本と中国 その一

—2000 年に及ぶ交流の歴史—

・漢字 (紀元 1 世紀前後)、仏教 (紀元 6 世紀はじめ) の伝来

(なお漢字について別添 参考資料)

・阿部仲麻呂、唐へ (8 世紀)、鑑真和上、日本へ (8 世紀)

・平城京 (710 年)、平安京 (794 年) の都築り 来年は平城京遷都 1300 年

・江戸時代 漢学

・明治時代 和製漢語の逆輸入

(“経済”、“哲学”、“自然”、“人民”、“共和国”……)

清国から多数の留学生 (1906 年 1 万 8000 人 魯迅、陳独秀、周恩来、郭沫若……)

### 3. 日本と中国 その二

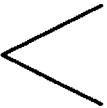
——不幸な時代の始まり——

- ・辛亥革命 (1911) 清朝 → 中華民国 (孫文←→頭山滿、 宮崎滔天、梅屋庄吉……)
- ・対華 21 か条 (1915) 中国全域にわたる各種の權益の確保拡大を要求
- ・孫文 1905 年中国革命同盟会を東京で結成  
宋慶齡と日本で結婚、日比谷松本楼 (1924 於神戸で、“大アジア主義”と銘打ったスピーチで) “日本は王道をとるのか覇道の道に行くのか!?”
- ・満州事変 (1931 年)
- ・日中戦争へ突入 (1937 年)
- ・敗戦 (1945 年) 参考資料 (“村山談話”)

### 日本と中国 (日中正常化への歴史) その三

- ・中華人民共和国成立 (毛沢東 1949)  
中華民国 蒋介石台北へ遷都 (1949)
- ・サンフランシスコ平和条約 (1951) を経て日本、中華民国 (蒋介石) と  
国交樹立 (1952)
- ・1952~1972  
日中間貿易取極  
日中 LT 貿易、覚書貿易  
“以民促官”  
松村謙三、高崎達之助、藤山愛一郎、古井実……  
周恩来、廖承志、張香山、孫平化……

### 4. 日本と中国 その四

- ・1972 日中国交正常化  (毛沢東主席) 周恩来総理、 姫鵬飛外交部長  
田中角栄総理、大平正芳外務大臣
- ・毛沢東時代 (1803~1976) の中国 → 大躍進、人民公社  
“継続革命” “自力更生” → 文化大革命  
中ソ論争
- ・鄧小平政治の始動 1978 12.~  
—— “改革・開放” “白い猫でも黒い猫 (実際の発言は”黄色い猫“)でも、  
ネズミをとれる猫は良い猫“(鄧小平のプラグマティズム)  
—— “改革・開放” 政策の光と影  
光: 目ざましい経済成長—— “改革・開放” の 30 年間、年平均 9.8% の高成長、  
(外資導入、外国政府援助……) 分かり易い中国に  
影: 貧富の格差の拡大、自然環境の破壊、農村問題、不正、腐敗の横行……

## 5. 日本と中国 その五

- ・政治体制の違い 民主政治 vs 共産党の一党独裁
- ・経済発展段階の違い  
1人当たり GDP 37,000 ドル vs 3,000 ドル
- ・多民族国家 vs (ほとんど) 単一民族国家
- ・モノの考え方の違い

(参考)

吉川幸次郎氏の言： 中国文学の追い求めたテーマ vs 日本文学の追い求めたテーマ

陳瞬臣の言： “日本は中国文学からも多くのものを取り入れたが、ひとつだけ取り入れなかったものがある、それは…… “

周恩来 (中日関係のガイドラインとして)

“求 (大) 同存 (小) 異”

## 6. 今後の日中関係 —— いくつかの視点

- ・世界の中の日中関係 (環境、エネルギー、アフリカの貧困問題、軍縮、国連改革、北朝鮮問題)
- ・日米中 vs G8
- ・青少年交流 cf 独仏 (エリゼ条約 1963)
- ・内向き独善的なナショナリズムからの解放、良好にして安定した日中関係と政治のトップのリーダーシップ (参考：福田総理の北京大学スピーチ)
- ・歴史教育 (日本) 田母神論文
- ・台湾、日台関係

## 7. 最後に

——ポスト北京オリンピック → 中華人民共和国建国 60 周年 (2009 年) → 上海万博 (2010 年) → 辛亥革命 100 周年 (2011 年)

①これからの中国に求められるもの——外需主導から内需主導の経済運営、大国としての自覚、それに相応しい所作、品格ある自信 (宇宙衛星の破壊、“中国不可辱!” オリンピックの開会式の口パク、チベット問題……) 往時の日本の愚をくり返すな!

②これからの日本に求められるもの—— (経済回復)、活力ある二大政党制、国際社会への発進力の涵養 (発表力、ディベート力、国語力、英語力)、メディア、日本 (人) の国徳、品格の練磨 (一部の内向きナショナリズム、“歴史” への開き直り、海外旅行者、~~海外旅行者~~、駐在員のマナー……)

—— “没有問題!” “問題不大!”

(“ノープロブレム”、 “ケンチャナー”)

参考：

“歴史認識”の問題 一部における“歴史”への開き直りを“保守”への回帰の風潮

①「歴史の歪曲」は、百害あって一利なきものと思う。それは日中友好関係をもっとも深いところで傷つける。それは、また、日本人の誇りをも傷つけるだろう。日本人の誇りは、過去の誤りをごまかして言い繕うことにあるのではなく、自らそれを直視し、批判したじろがぬ勇気にこそある。」 (加藤周一)

②「言葉つき丁寧にして声低からざれば、大気魄は出ずるものと非ず」 (吉田松陰)

③——天皇陛下のお誕生日に際しての記者会見の内容 (2005年12月)

「61年前の厳しい戦争のことを思い、心の重い旅でした。日本は昭和の初めから昭和20年の終戦までほとんど平和な時がありませんでした。

この過去の歴史をその後の時代とともに正しく理解しようと努めることは日本人自身にとって、また日本人が世界の人々と交わっていく上にも極めて大切なことと思います。

戦後60年に当たって過去の様々な事実が取り上げられ、人々に知られるようになり、ました。今後とも多くの人々の努力により過去の事実についての知識が正しく継承され、将来いかされることを願っています。」

④福田総理の中国、北京大学におけるスピーチ (2007. 12.) より

——「皆さんは、海を隔てた隣人であり、また、2千年の長きに及ぶ交流がある日本と中国の関係についてどのようにお考えでしょうか。温家宝総理は、本年4月の訪日の折、わが国の国会において、「歴史を鑑とすることを強調するのは、恨みを抱え続けるためでなく、歴史の教訓を銘記してよりよい未来を切り開いていくためだ」と仰いました。私は、この温総理の発言を厳粛な気持で受け止めました。長い歴史の中で、この様に不幸な時間があっても、これをしっかりと直視して、子孫に伝えていくことがわれわれの義務であると考えています。戦後、自由民主主義国として再生したわが国は、一貫して平和国家としての道を歩み、国際社会に協力してきたことを誇りに思っています。しかし、そうした誇りは、自らの過ちに対する反省と、被害者の気持ちを慮る謙虚さを伴ったものでなくてはならないと思います。過去をきちんと見据え、反省すべき点は反省する勇気と知恵があって、はじめて将来に誇り無きを期することが可能になると考えます。

同時に、日中の長い歴史を俯瞰するとき、より長い、実り多い豊かな交流があったことを忘れてはならないと思います。」

(参考)

今、中国の人民は何に関心があるか？

- |      |          |           |
|------|----------|-----------|
| 1位：  | 反腐败・清廉提唱 | (約20300票) |
| 2位：  | 医療改革     | (約18400票) |
| 3位：  | 食品・薬品安全  | (約16200票) |
| 4位：  | 収入分配     | (約14900票) |
| 5位：  | 就業問題     | (約14000票) |
| 6位：  | 住宅問題     | (約13100票) |
| 7位：  | 教育の公平    | (約13000票) |
| 8位：  | 社会保険     | (約12900票) |
| 9位：  | 司法の公正    | (約11900票) |
| 10位： | 法に基づく行政  | (約8900票)  |

「人民網」(人民日報ウェブページ)による調査('09 2)

参考資料等

(1) 参考資料

- ・日中共同声明(1972) (別添参考資料)
- ・日中平和友好条約(1978)
- ・福田総理スピーチ(2007 12. 於北京大学)

(2) 参考書

「手にとるように中国がわかる本」

(三菱総合研究所) 宇佐美 暁 編著 かんき出版 2008

「中国——静かなる革命」(呉軍華著 日本経済新聞社出版社 2008)

(3) 映画

「宋三姉妹」